

# LEEWARD

No.21  
2014 年度



*Muroran Institute Of Technology*  
*470 yacht racing team*  
*Since 1966*

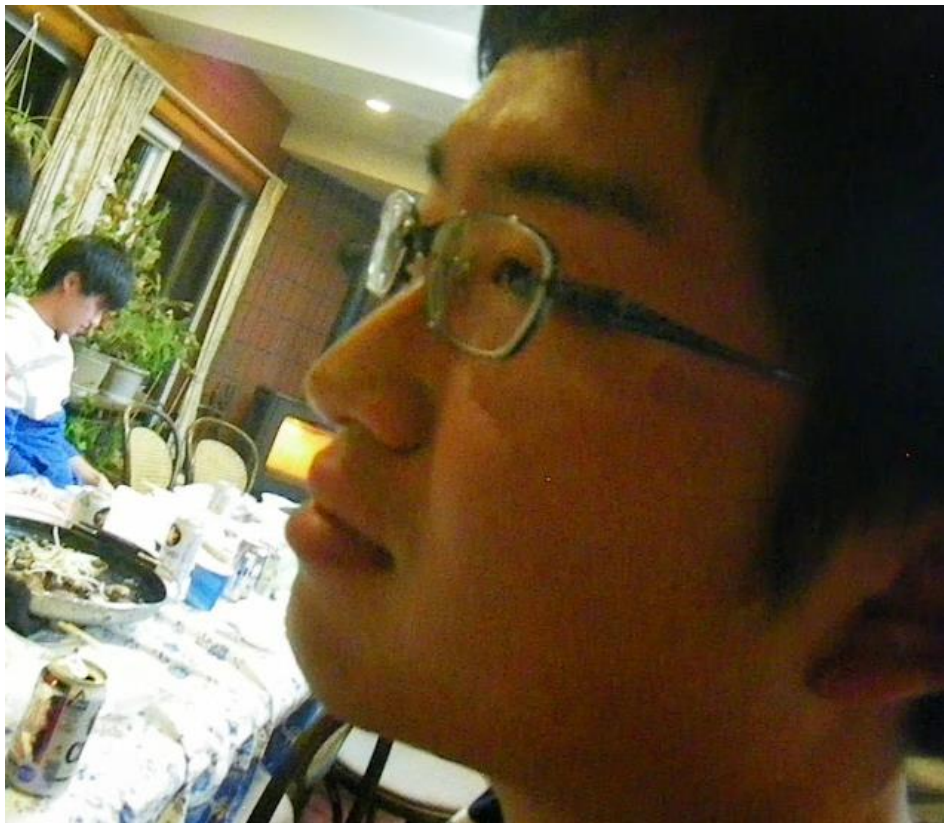
# 目次

1. 主将から . . . . . 1
2. 元主将から . . . . . 3
3. OB から . . . . . 5
4. 4年生から . . . . . 7
5. 部員紹介 . . . . . 9
6. スケジュール . . . . . 20
7. レース報告 . . . . . 21
8. 来年度への意気込み . . . . . 28
9. 2014 年度収支決算 . . . . . 30
10. 2015 年度収支予算 . . . . . 33
11. 編集後記 . . . . . 34

# 1. 主将から

機械航空創造系学科

大原 伸



## 「3度目の正直」

月日が経つのは早いもので、気がついたら3度の夏が過ぎ、最上級生となりました。昨年は副主将として主将を、部活を支えてきましたが、主将になってみて感じるのは、これまでとは明らかに違う重圧と責任感です。他の部員はもちろん懸命にサポートしようとするし、自分もそうしてきましたが、結局、主将とそれ以外には決定的な違いがあるのだと思います。歴代の主将達はそれを乗り越えてきたのだと思うし、自分もその覚悟で部を引っ張っていくつもりです。

昨年は全国大会出場を目指して努力してきましたが、結果は、はっきり言って惨敗でした。新しい事にも挑戦しながら、他校に負けぬよう技術を磨いてきたつもりでしたが、実戦ではボロが出てしまう事が多く、なかなか結果につながりませんでした。上のレベルを目指そうとするあまり、高度な技術や知識にとらわれ過ぎていた部分があったのではないかと思います。今シーズンはもっと基礎的な部分をしっかりと固めつつ、高度な事にも挑戦していき、安定した速さを実現したいと考えています。

私の代は上級生の人数が少ないこともあり、2年生の時には、主力メンバーに加わって、団戦にも出させてもらいました。あのときの自分達は本当に未熟で、全国を目指している先輩達の力になれず、悔しいおもいをしました。3年生では、自分達がほぼ主体でしたがリベンジはかなわず。そして今年です。3度目の正直。ヨット部革新の年です。私はこれを部員全員と叶えたいと思います。OB、OGの皆様、是非期待してください。そして、あたたかいご支援の方よろしく申し上げます。



## 2.元主将から

建築社会基盤系学科 4年

村田 明日香



今年一年を振り返ると、冬の洞爺湖の練習、室蘭合宿、室蘭の外洋練習、など上級生が少ないなりに自分たちがよく考えるようになり、私も後輩たちがより一層成長でき、技術と経験を得られた1年でした。1年間のレースを振り返ると、強風のレースが多くてレースの選手は強風経験を積み、他大学と戦えている印象でした。特に、個戦では強風の中、室工だけが全艇無事に帰ってこれたことが、成長したなど実感しました。

団戦は、三位とゆう結果でした。室工の実力がまだ足りなかった事を痛感しました。大原の代では、この悔しさをばねに練習に励んでほしいです。

現役ヨット部員へ、

同期、先輩、後輩と一生懸命考えて競っているいろんなものを得てください。4年間は思っている以上にすぐに過ぎ去ってしまうので1日1日大切にしてください。

そして引退する時に悔いのないように目標を果たせるように練習してほしいと思います。

そして4年間、楽しくヨットに乗って欲しいです。

最後に、私はだいぶ頼りない主将だったと思います。その中でも、頼りがいのある後輩たち、たくさんのOBさんが自分を支えてくれていたと思います。今思えば感謝しかありません。お世話になりました。本当にありがとうございました。



# 3.OB から

情報電子工学系学科 4 年

佐々木 渉

まず、今年一年を振り返ってみると大会の結果は現役が掲げた目標には届かなくてとても残念に思います。4年生はお疲れ様でした。OBの立場で大会の運営艇や練習の様子を一年間見てきて選手達の成長を感じることはできました。それでも勝てなかったということは今年よりもさらに努力しなければいけないということです。まあ、それは言われなくても現役には百も承知だとは思いますが改めて書いておきます。

現役には散々言っているしろんな人から言われてもいると思うけど大学の4年間の短さ、当たり前だけど部活だけではなく、勉強やバイトに時間を割かなければいけないし、本当にあつという間に過ぎていくので時間の使い方には気をつけて欲しいです。

4年生が引退することで4月には現役一人ひとりが学年がひとつ上がって先輩になります、そしてすぐに新生が入ってきて後輩ができます。自分が今までしてきたことだけでなく、さらに先輩に教わっていたことを自分が教えなければならない立場になります。そう考えると今から自分は何をすればいいのか、何をしなければならないのかが分かると思います。大変だけどそういうことを考えて行動し、これからもヨット部を楽しく明るく笑顔で頑張りたいです。





# 4.4 年生から

建築社会基盤系学科 4 年

村田 明日香



私がヨット部に入ったのは片平さんからの勧誘がきっかけで気づけばヨット部に入っていました。はじめは全く運動部にはいるつもりはなかったのに部の雰囲気誘われてあれよあれとヨット部に入っていました。

私が2年生の夏には同期は全員やめてしまいました。さらにたくさんいた4年生が引退し、上級生が少ない中、エンジンが海に落ちるし、海の上でガソリンがなくなるなどあって、あの夏の小樽合宿はほんとにつらかったです...

気づけば、四年間はあっとゆう間でした。冬の洞爺湖は寒いし、夏は日焼けや、合宿のハーバー生活など、辛いことはたくさんありました。けれど、ヨット部にいて学んだことはたくさんあったし、たくさんの人との出会いはこれからも大事にしたいと思います。OGになった今でも真剣な時は真剣に、楽しむ時はとことん楽しむあのヨット部が大好きです。ほんとにヨット部に入ってよかったと思っています。4年間ありがとうございました。



# 5.部員紹介

「ちゃげさんのまとめ」

建築社会基盤系学科4年 村田明日香

ちゃげさんこと村田明日香さんについてまとめてみましょう。

甘いものが大好きです。よく人のお菓子を取るので気を付けましょう。ポッキーを食べる姿は共食いの如くという情報も....

イエスウーマンらしいです。でもちゃんと嫌なことは断ります。

おでんくん。似てる!!!!????

愛車はパジェロジュニアです。とても可愛がっているのですが、燃費悪いとか、狭いとかは禁句。卒業後後輩に譲るとか...

よく食べる人が好き。プリケツも好き。

料理は基本しません。

普段はカッコいい感じですが、酔ったらすごく女の子らしくなり可愛いです。必見!!!!!!!!!!

そんなちゃげさんがみんな大好きです。

「相澤健哉の勝手にプロフィール」

機械創造系学科3年 相澤 健哉

氏名：相澤 健哉 あいざわ けんや

年齢：たしか22歳

出身：青森県

異名：いんぷれっさに乗る敏腕マネージャー

趣味：おそらく釣り

写真撮影 一眼レフは伊達じゃない！

でも最近(後期)入ってからあんまり見てないな～。

特技：料理 いつでもごはんおいしいよね！

えのき そうめんは持たせるな！絶対だぞ！

その他：元増進会教師 つまり元増進会の奴隷

今はセブンでバイト中

家には家電が充実している。

ボランティアで(たしか)モンゴルに行った。

語学研修でドイツにも行ってる。

ここで問題です。今度はどこに行くでしょうか？ 筆者予想はカナダ or アラスカ  
正解は来年のリワードで。(本当に載るかはわからん)

「自己紹介」

応用理化学系学科3年 碓井 真大

俺の名前は碓井真大！趣味はボードと遊ぶこと！

勉強？そんなもんしねーよ！

なんとかなる！

え、もしかしてみんな勉強とかしてんの？楽しい？

そんなもんすんなよー！

そんなことしないであそぼーぜ！のもーぜ！ワイワイしよーぜ！

いつも俺って優しいだろ？

でも、真剣なことになると適当なことが許せないんだ。俺のこと直ぐキレる、思ってる人多いと思うけどそれはおまえらを想ってのことなんだよ。それくらい気づけよ子供だなあ。今年で俺らは最後。だから今年の夏はいつも以上にきつく言うと思う。でも、それは全国大会行きたいから、他の大学に負けたくないからってわかってほしい。みんなも勝って全国大会行きたいだろ？みんなが高め合って実力あげて、つよくなっていこーぜ！

さあ、飲もうぜ！

「[速報] 2014年ヨット部「ベストギャグニスト賞」 受賞決定！」

機械創造系学科3年 大原 伸

なんと今回、岩手っ子トリオの一人、大原伸さんがベストギャグニスト賞を見事受賞いたしました。本当におめでとうございます。口を開けばギャグを言い放ち、周りの人を笑顔にしてきた功績がやっと評価されたようです。しかし、最近ではギャグのレベルが高いからか誰からもツッコまれず少し残念な表情をする姿が目撃されているようです。2015年度の受賞は難しいかもしれないですね笑。そんな彼ですが、今年度は他の部門での受賞も期待されます。「ベストエンジニア賞」や「NHK連続ドラマ小説大好きで賞」に始まり、「スノーボード大好きで賞」、「PREOを愛しているで賞」、「解析は苦手なで賞」などなど。そんな中最も注目されているのが「インカレ団体戦本戦行くんで賞」の受賞です。昨シーズンで全国を経験した彼も、今年は最上級生として集大成の年。部長として室工大ヨット部を全国へ導いてくれるのか？乞うご期待です！

「徹さんこと佐藤徹三郎さんについて」

機械創造系学科3年 佐藤 徹三郎

えー徹さんの他己紹介をさせていただきます。まず1つ目はとても優しいところです。いつでも部活のみんなのことを気にかけていると私は思います。練習でもその優しさは目に見えてわかります。2つ目は面白いところです。特に練習中ではいつも面白い話というか盛り上がる話をします。私はその話がいつも好きです(笑)。3つ目は料理上手なところです。というより料理を作るのが好きなのでしょう。徹さんのクッキーはとても美味しいです。一番美味しかったのはハロウィンの時、大原さんが徹さんにもらった器がかぼちゃのグラタンがめっちゃ美味しかったです。4つ目はボーリングが好きなことです。しかもうまいです。1年の頃はよく連れて行ってくれました。最近はあまり行ってないです(泣)。まあ、みんな忙しいですからね。久しぶりに徹さんと行きたいですねー。5つ目はアニソンが好きなことです。車の中は基本アニソンですね。なんか聞いたことあるなーと思うときは結構徹さんカーで流れているアニソンです。最後は、勉強熱心なところです。ヨットのことを理論的に考えてみんながわからないことをすら一つ一つ答えちゃう時があります。私も勉強頑張ります。両方とも(泣)。

### 「突然の告白。」

機械創造系学科3年 野田 達也

それはいつのことだったか、春季レースを終え数日ほど経った日のことだった気がする。C棟のある一室に何かのミーティングで集まったのか忘れてしまったが、その場で野田さんが突如、告白した。

・・・野田さんはなにを告白したかって？

4年生になったら海外の大学に留学する！と。だから、今年の9月の団体戦が自分にとっての集大成になると。

彼はいろいろと悩んだ末、そう決断したようだ。

私はその時、彼は4年生まで部活に居て当然のこととっていたために、残念な気持ちになったのは確かで、心にぽっかり穴が開いた気分になった。

それから時が経ち、9月の団体戦を終えて、彼は、今、まさに今、留学のための準備に必死になって取り組んでいる。ヨットに真剣に夢中になっていたあの頃のように。きっとそのはず。

願わくは彼の留学が成功することを心から思い、応援したい。

### 「厚樹さん」

機械創造系学科3年 吉原 厚樹

まず厚樹さんの特徴を説明しよう。彼はぱっと見チャライ。その外見通りよく遊びよく呑んでいる。最近ではダーツにはまっている。部屋にダーツボードを設置し、毎日投げているほどだ。だが、彼は上下関係など厳しく後輩に怒るという真面目な性格も垣間見える。でもそんな彼だが様々なバイトをクビにされたと聞く。今では本人の前で「バイト」という単語は禁句になっているとかなっていないとか・・・。そんな厚樹さんももう4年・・・多分。残り少ない期間だが厚樹さんをよろしく！

### 「今井未来について」

情報電子工学系学科2年 今井 未来

みんなから「ちゃんみく」と呼ばれている今井未来さんのことを書きたいと思います。彼女は30キロの距離を毎日マイカーで実家から通っています。ちなみに実家は伊達市の稀府です。誕生日は1013paの[10月13日](#)です。とても覚えやすいですね。

みんなから頭悪く思われているらしいんですけど、本当はものすごく頭がいいんです！なんたってフル単！本当にすごいことですね。ぜひ見習いたいものです。

元気で明るくて、気遣いができる彼女をわたしはすごく尊敬してます。

### 「ギガンティック☆木下雅也☆」

機械航空創造系学科2年 木下雅也

木下雅也とはギガンティック☆木下雅也☆の略称である。主にドン・キョーホーテなどで取り扱われており、男女兼用である。最近ではバナナをエネルギーとして動くモノ、携帯に便利なお手頃サイズなモノなどありとあらゆる木下雅也が流通してきているが、一度バナナを与えると慢性的にバナナを欲するようになるため、木下雅也に対するバナナの使用は用法、用量を守って正しくお使いすることをお勧めする。

なお室蘭工業大学ヨット部における木下雅也とは全くの別物であり注意が必要。

また以上の文章はすべて適当である♫

### 「田中かおりの生態」

情報電子工学系学科2年 田中かおり

「田中かおり 20歳 女性 大学生 独身、彼氏なし」について私が調査した内容について以下にまとめる。

- 基本的に全ての対応は笑って愛想よく切り抜ける
  - が、内心別に笑ってない
  - いじりすぎるとムツとした顔をする
  - 「別に怒ってないです」と言うが、内心激オコ
  - 好きなアーティストは一青窈
  - 好きな映画は極道の女たち
  - 多くの場合は「安定のかおり臭」といういい匂いがするが、時々ジンギスカン臭い
  - 最近、パソコンが壊れた
  - 自慢のエロ動画が全て消えて、内心ガッカリした
  - ヨット、ダーツ、バドミントンでどれが一番大事か尋ねたら、食い気味に「そんな事より彼氏が欲しい」という名言を残した
  - あとで怒られるのが、内心怖いので言っておくと、結構テキトーな嘘が混ざっている
- 以上で、田中かおりについての報告を終える。尚、更なる情報が欲しい場合は追加調査も有償で承りますので、お手数ですがリワード係を通しご一報ください。

「みなこさんの紹介～」

情報電子工学系学科2年 谷川 美奈子

- ・みなこさんは2年マネージャーカルテットの1人である。
- ・天然系のお姉さんの雰囲気をかもし出している。(本人は認めていない)
- ・↑のことから運動が出来ないかと思いきや、雪合戦部でバリバリにやっているらしい。
- ・国際雪合戦連合(通称 IAY)の審判員証というなんか凄そうなものを持っている。
- ・スキーも上手であるけど、雪をかけられた記憶しかない。
- ・料理に関して、ヨット部の家政夫こと徹さんから「あの子はセンスあるよ～」と嬉しそうに語られるくらいセンスがあるらしい。
- ・コーヒーが好きらしくて、いつも飲んでいるらしい。
- ・そんなに飲んで夜眠れますか?と尋ねたところ「私には効果がないんだよ～」と言い放った。不思議だ。
- ・実はものスゴイ酒豪で、性別が違えばと思うほどである。いや、本当にその特性譲って欲しい。・「すぐ顔が赤くなるくらいが可愛かったのに、、、」と嘆いていた。

「堤友輔@YAHOO!」

機械創造系学科2年 堤 友輔

- 後輩 堤さんについてヤホーで調べてみたんですけど・・・
- 先輩 ヤフーな。堤はヤフーじゃ出てこないだろ。
- 後輩 それが、色々出てきましたよ。まず、室工大のヨット部でクルーやってるみたいです。それから、なんと双子の妹は商大のヨット部でマネージャーをしてるらしいです。
- 先輩 そんなのは道内のセーリング界では有名な話だよ。その妹はみんなから「俺のさやか」って呼ばれてんだぜ。
- 後輩 ……。あ、名前占いによると、情熱的で剛気。忍耐力があり信頼されるってありますよ。
- 先輩 確かに。ヨットへの情熱は熱いし、忍耐力もあるな。色んな意味で。笑
- 後輩 あと、堤さんと同姓同名のミュージシャンがいるんですよ!
- 先輩 マジか!有名な曲とかある?
- 後輩 いえ、僕の知っている曲はないですね・・・
- 先輩 だろうな。っておい!ミュージシャンの堤に失礼だろ。
- 後輩 (いや、のりつっこみって) ええと、堤さん映画に出たことあるみたいですよ。
- 先輩 んなわけねーだろ。あ、エキストラかなんか?
- 後輩 いえいえ。主役ですよ。実はその映画についても調べてみたんですけど、ALWAYS三丁目の夕日って知ってますか。
- 先輩 いやいや、超有名だろ。ん、てかそれ、堤真一やないかーい!!
- 2人 どうもありがとうございましたー。



「私のこと知りたい？」

機械航空創造系学科 2年 中澤 建介

私は山梨県の南アフリカ出身よ。日本語は難しくてたまにカタコトだけど許してネ。性格はちょっと天然で優しくて、人に流されやすいかしら？あと、よく寝坊しちゃうの。寝坊したらすっぴん寝間着で学校に行くわ！トラブルに弱くてすぐテンパっちゃうのが悩みの種なの。そうそう、身長が高くてナイスバディってよく言われるわね。ビキニ姿を披露したらキヤーキヤー言われちゃって。勉強はちょっと苦手なの。過去問を持ってたらぜひ教えてね。普段はセイコーマートでバイトしてるわ。お客さんが来なくてヒマだからいつでも遊びに来てね。今年からスノーボードを始めたの。10万円のセットを買ったのはいいけど、うっかりしちゃって初日で傷がついてしまったわ。すごくショックだったけど板は消耗品よね。趣味はチェロよ。あら、知らなかった？じゃあ今度聞かせてあげてもいいわよ。

「ゆっきーな」

情報電子工学系学科2年 西脇 ゆきな

嵐とSMAPが大好きな彼女。去年も札幌だけではなく道外のライブやイベントにも行ってきました。

にのみやクン推しです  
しゅみは音楽にゲームのニノ  
わりとガチだったり  
きょうだし運動神経もいいし  
ゆくゆくは映画監督になりたいとか  
きりがいいね、挙げだしたら  
なに、二宮の紹介になってるって？

すいません

昨年夏、パズドラのCMに嵐が出演していて、その影響でパズドラを始めたとか始めてないとか…

あと、たくさんの趣味がある彼女ですが、今度はスノーボードを始めました。行く度にどんどん上手くなってるようです。色々好きなことがあって羨ましい限りです。

「間野青葉診断」

応用理化学系学科 2年 間野 青葉

1. 室工ヨット部に所属している。

Yes / no

2. 苗字より名前で呼ばれたい

Yes / no

3. 幼い顔たちから5歳児に間違われることがある。

Yes / no

4. というか5歳児である。

Yes / no

5. 某マネージャーのやかましさがむしろ心地良い。

Yes / no

6. 俺のヒップはビッグだ。

Yes / no

7. 宴会係しんどい。でもみんなの笑顔を見ることが俺の生きがい。

Yes / no

・ yes が 0～3 個の方

あなたは間野青葉ではありません。

もっと頑張りましょう。

・ yes が 4～6 個の方

間野青葉である可能性高いです。もしくは今後間野青葉に可能性を秘めています。努力次第です。

・ yes が 7 個の方

完全に間野青葉です。むしろ本物より間野青葉です。誇ってください

「ヨット部の革命児 三木洗一。」

応用理化学系学科2年 三木 光一

あなたにとって歌うこととはなんですか？私は歌とはカラオケで歌うことができればそれで十分でした。

しかし、彼の歌を聞いたとき自分がどんなに軽率で世間知らずかを知りました。

彼の歌をカラオケボックスのなかで聞いたとき、ただ単純に恥ずかしかった。彼の歌声は、カラオケという範疇を超え、私たち一般人とははるかにレベルが違ったからです。

「あなたにとって歌うこととはなんですか？」

私は彼にこんなことを尋ねました。

「歌うこととは生きること。」

彼が私に言ってくれた言葉です。ここまで、真に歌のために生きる男がこの世にいるのか。そんな思いにかられました。

彼は今、ヨット部のサポーターとして選手一人ひとりを支えている立場です。彼の歌声のために頑張っている選手も少なくありません。

彼の歌がどんな風にヨット部を変えていくのか、そんなことばかり私は考えてしまいます。これからさき、彼がヨット部に起こす新たな革命を是非見守っててください。彼はこの先何かを起こします！たぶん！

「中岡クイズ」

機械航空創造系学科2年 中岡 一真

はい、ここでクイズです！

ヨット部のマスコットこと中岡について皆さん考えてください！

1. 怒られたら...
  - 1.反発する 2.泣く 3.しょぼんとしてすぐ復活する
2. 口癖と言えば
  - 1.じぇじぇ 2.やられたら倍返し 3.だって〇〇ですもん
- 3.艇庫までいくなら...
  - 1.くるま 2.バイク 3.自転車
- 4.社畜になるなら...
  - 1.ローソン 2.マック 3.サンクス
- 5.部活あとにご飯にいくなら...
  - 1.あっさり系 2.こってり系 3.がつつり系

中岡にはアメと鞭をうまい具合に使い分けて、これからもやさしく接してあげてください

「ぼく、たむけん。」

機械航空創造系学科 2年 田村 健一郎

ぼく、たむけん。田村けんじじゃなくて、田村健一郎だよ。ぼくのね、出身は群馬なんだよ。みんな群馬って知ってる？どこにあるか知ってる？群馬ってね、よく47都道府県の魅力度ランキングとかでも下位ばかりであまり印象にない県だとか言われたりするんだよね…ぼく悲しいよ…そこでね、みんなにもっと群馬のことを知ってもらいたい！ぼくが教えてあげる！

群馬で有名なものっていったらなんだろう？草津温泉とか有名かな。最近だと富岡製糸場が世界遺産に登録されたりして、群馬にまた1つ名所が増えてぼくは嬉しいよ。

今人気のゆるキャラだと、ぐんまちゃん！本当にぐんまちゃんのおかげでどれだけの経済効果があるといったらもう…感謝ですww

芸能人だとね、中山秀征やJOYとかが群馬出身なんだよ。あの大人気スーパーアイドル嵐の櫻井翔も生まれは群馬らしいのです！！これはぼくも知らなかった…

あなたも、あなたも、そこのあなたも！みんなで群馬に遊びに来てね！ぼくずっと待ってる。

「ぼくまさき」

情報電子工学系学科 1年 小俣 真輝

ぼくは、第一印象は結構いいと思うんだ。まあまあかっこいいし太ってないし。でもね、タバコかなり吸ってるから、そのタバコの煙で僕の周りの空気は汚い。それからそれからぼくってね、すっごく食べ方が汚いんだ。口の周り汚くなるしボロボロこぼしちゃう。

なおそうとはしてるんだよ。わかってくれるかなあー。わかったよわかったよ。

なら、妖怪体操第一踊りながら、大人になっていきますよー！

ヨーデルヨーデルともだちだいじ！！

よし！僕友達大事にする！

やっぱり、食べ方なんてどうでもいいよね？友達さえ僕の味方してくれば周りの目なんて気にしない！ふっふーい

みんな、これからもカラオケで僕が妖怪体操第一は絶対踊るから誰か歌ってね？俺のキレのある踊りみんなにまた見せてあげるよ。惚れんなよ？マネージャーたち。俺に惚れると火傷するぜっ。

「まえしょーってさ....」

情報電子工学系学科 1年 前田 翔

まえしょーという子は、九州のどこか(たしか熊本とかそこらへん)からはるばる室蘭までやってきた子です。

そんな彼に「もしかして、雪初めてなんじゃない?!」と、聞くと何度か北海道に来ていてスキーもやったことがあると言う。北国の人間からすると期待外れの返事をしてしまう子です。

そんな彼は持ち前の明るさと野球で鍛えた筋肉でヨット部を楽しくやっています。

ちょっと時間があるときには自主的に陸練をするほどヨットに対して真面目に取り組むとてもいい子なんです。そして彼はまだ 1 年生、まだまだこれからが楽しみでしかたないですね♪

そんな彼にみんなで yell をおくらう!

がんばれ!!

「あなたを診断したっー」

情報電子工学系学科 1年 田坂 華菜

診断したい名前を入力してください

田坂春菜

[診断する]

田坂春菜は<図書館のアルバイト>

生誕祭：3/30

住処：女子寮

実家：コンビニ

所属：ヨット、催事、国際交流

好きなもの：コアラ、セカオワ

苦手：敬語

最近ハマったもの：競馬（特にメスが好き）

オーストラリアに留学していた経験を持つ

昔スピードスケートをやっていて相当うまかったらしい

# 6. スケジュール

## ●2014 年度行事

- 5月：4～6日 春季レース  
6月：21、22日 エンルムカップヨットレース  
27、28日 北海道ポイントレース  
7月：20、21日 国体北海道予選  
26、27日 インカレ個人戦予選  
9月：6、7日 ジュニアヨットアカデミー/地球岬ヨットレース  
19～21日 インカレ団体戦予選  
27、28日 全道選手権  
10月：11、12日 洞爺湖練習開始/白鳥大橋ヨットレース  
11月：19～24日 第43回全日本470級ヨット選手権大会  
1月：19日 マネージャー感謝祭・新年会  
3月：2～3日： 追いコン

## ●2015 年度レース日程

- 5月：4～6日 春季学連レース（小樽）  
6月：20、21日 エンルムカップヨットレース（室蘭）  
7月：11、12日 国体予選（小樽）  
18、19日 インカレ個人戦予選（小樽）  
8月：29、30日 全道選手権（小樽）  
9月：3～5日 インカレ個人戦本選（愛知）  
10～13日 国体本選（和歌山）  
20～22日 インカレ団体戦予選（小樽）  
10月：3、4日 秋季学連レース（小樽）  
11月：2～8日 インカレ団体戦本選（江ノ島）

# 7. レース報告

## ● 春季レース

「初出場 春季レースでまさかの・・・」

中澤 建介

春季レースはとても印象に残るレースでした。私が初めてレースに出た大会でした。スキッパーは徹さん、クルーはちゃげさんと私で登録しました。記憶が曖昧なのですが確か2日目と最終日に出場させていただきました。そのとき、神田さんが応援に駆けつけてくれました。神田さんのアドバイスはとても勉強になりました。2日目は、初めての大会というのもあったのですが、とても緊張してしまい視野が狭くなり思うように船を進めることができませんでした。沈まないようにだけ考えて乗ったのが恥ずかしいです。最終日、前日の夜に天気・風向・潮・いつぐらいに風が振れるかなどしっかり対策をしたので、そんなに緊張しないで落ち着くことができました。2日目より周りをしっかり見るようになりました。徹さんともしっかりコミュニケーションを取りながら乗ることができました。最終レースでは1上を1位通過することができ興奮したのですが、途中でコース短縮になりゴールを見失ってしまい結局順位はケツから数えたほうが早かったです。

けれど、初めてのレースでとても良い経験になりました。そのレースで練習不足だと確信し、課題も見つかりました。これからできないことを、できるようにならなければ勝てないと感じました。2年生で1上1位の興奮を味わえたのは自分の中でとても大きな経験になりました。

## ● 国民体育大会北海道水域予選

国民体育大会北海道水域予選個人戦																		
基本情報				合計		1レース		2レース		3レース		4レース		5レース		6レース		
	所属	Sail.No	ヘルムス	クルー	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位
1	北海道大学	3789	溝口	松谷	46	9	13	13	7	7	8	8	9	9	9	10	13	13
2	北海道大学	3993	飯塚	森下	57	14	15	DNF	15	RET	15	RET	15	DNC	5	5	7	7
3	北海道大学	3452	後藤	町谷	41	8	8	8	8	8	9	9	8	8	8	8	11	11
4	北海道大学	4075	中村	野崎	11	2	3	3	4	4	3	3	1	1	1	1	3	3
5	北海道大学	3147	幸若	田林	9	1	1	1	1	1	6	6	2	2	3	3	2	2
6	室蘭工業大学	3545	碓井	野田	15	4	2	2	2	2	2	2	5	5	10	11	4	4
7	室蘭工業大学	3669	佐藤	堤	27	6	5	5	6	6	5	5	6	6	12	13	5	5
8	室蘭工業大学	3805	大原	村田	41	7	7	7	12	12	13	13	7	7	6	6	9	9
9	小樽商科大学	4376	太田	赤前	12	3	4	4	5	5	1	1	4	4	2	2	1	1
10	小樽商科大学	3878	徳田	三浦	49	10	12	12	11	11	11	11	13	13	7	7	8	8
11	小樽商科大学	4072	松浦	小池	26	5	6	6	3	3	4	4	3	3	4	4	6	6
12	小樽商科大学	4152	荒川	宇野	54	13	11	11	10	10	12	12	12	12	11	12	10	10
13	北見工業大学	3883	山本	朝妻	54	12	9	9	15	15	7	7	11	11	15	OCS	12	12
14	北見工業大学	3884	菊池	高尾	53	11	10	10	9	9	10	10	10	10	15	OCS	14	14

「国体予選について」

碓井 真大

予選両日ともに天気が良く、1日目が南東7mくらい、2日目が南東4mくらいのコンディションで行われました。

強風域だと他の艇がはしらないので、高い順位でまとめることができましたが、中風域になると順位を落としてしまう結果でした。

原因として考えられたのがやはりスタート。レース展開を海面から読み取り切れず、微妙なスタートをしてしまうことが多かったことが順位を安定させられなかった一番の要因だと考えます。ボートスピードは学連艇ではそこまでの差はなかったと思いました。

1上で順位を落としてしまうことがありましたが、強風域では他艇がリーチングでスピンを揚げなかったため、1下までに順位を上げることができました。7月くらいから強風域リーチングのはしり方の“リ”の字くらいは見えてきたと思います。

レースは1位を一回とったら勝てるわけではなく（もちろん全部1位であれば断然いいですが）、高い順位でまとめられる艇、チームが勝っていくものですので、点数をまとめ、前をはしれるように精進します。

正直今年のレースで一番楽しかったです。

●インカレ個人戦予選

2014年度インカレ個人戦予選(7月26~27日)																			
基本情報				合計	1レース		2レース		3レース		4レース		5レース		6レース		7レース		
所属	Sail.No	ヘルムス	クルー	点数	順位	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点
1	北海道大学	4161	飯塚 森下	28	5	1	1	12	12	6	6	3	3	5	5	3	3	11	11
2	北海道大学	4075	中村 野崎	19	2	8	8	3	3	1	1	1	1	2	2	4	4	12	12
3	北海道大学	4424	後藤 町谷	47	10	10	10	13	13	8	8	6	6	10	10	7	7	8	8
4	北海道大学	4290	瀧口 松谷	44	8	11	11	5	5	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7
5	小樽商科大学	4378	太田 赤前/田中	10	1	3	3	1	1	3	3	2	2	1	1	2	2	1	1
6	小樽商科大学	4072	松浦 小池/赤前	19	3	2	2	7	7	DSQ	DSQ	4	4	3	3	1	1	2	2
7	小樽商科大学	3878	徳田 三浦	38	7	4	4	6	6	7	7	8	8	7	7	9	9	6	6
8	小樽商科大学	4154	荒川 平野	45	9	5	5	9	9	13	13	10	10	6	6	6	6	10	10
9	室蘭工業大学	3545	碓井 野田/吉原	24	4	7	7	2	2	2	2	DSQ	DSQ	4	4	5	5	4	4
10	室蘭工業大学	3805	大原 村田/中岡	34	6	6	6	4	4	5	5	7	7	11	11	11	11	3	3
11	室蘭工業大学	3689	佐藤 堤/中澤	50	11	9	9	6	6	10	10	13	13	9	9	10	10	5	5
12	北見工業大学	3883	山本 勢妻/小須	64	12	DNF	DNF	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	9	9
13	北見工業大学	3884	菊池 中村/高尾	72	13	DNF	DNF	10	10	12	12	12	12	13	13	13	13	DNF	DNF



### 3669 堤友輔

この大会は自分の未熟さを痛感させられたとともにシーマンシップについても改めて考えさせられた大会になりました。春季、ポイントレース、国体と経験しレースにも慣れてきてコース取りもさせてもらったが結果は散々だった。敗因としてはまず他艇より前でスタートできなかつたこと、それと下りでの艇速がないことだ。どちらの問題にせよ今考えればクルーの責任が大きかった。ただ動作をしているだけでジブやスピンドクルーも艇を操っているんだという意識が薄かったのだ。大会後はクルーとしての役割を改めて考え練習してきた。来シーズンこそはこの経験を活かしてレースに臨んでいきたい。

大会2日目、7レース目の途中から強烈なブローに入り、最終的に他大学では艇体放棄する事態となった。僕たちも北大OBさんとヘルムスを交代しての着艇となってしまった。天気予報で荒れるのが分かっていたし大きなうねりなど予兆があったにも関わらずブローに入ってから着艇を決断した。本当に判断が遅かつたし、二人の実力をよく考えて海に出なくてはならないことを改めて思い知らされました。この経験は自分に活かすのはもちろんのこと後輩たちにも伝えていき、北海道水域全体で安全にセーリングできるよう努めていきたいです。

### 3669 佐藤徹三郎

自らの責任で出艇し、ハーバーへ帰着する。それができなかつたことが心に刺さりました。レースの中で技術の未熟さ、クルーとのコミュニケーション、チューニングの大切さなど自分に足りないことを学んだことは、多々ありました。しかし第5レース途中で風が上がり、ハーバーへ帰着するよう指示が出されました。ハーバーへ向かう間にも風は上がり続け、自分が操船できる風域を超えてしまい、安全に着艇できるか不安でした。もし沈したりしたら、座礁したりして、船が壊れたら、様々な思いがめぐる中私は、レスキュー艇に乗っていた北大のOBさんに助けをお願いしました。艇が無事に着艇した後も安堵よりも自分の未熟さへの悔しさが大きかつたです。

いい判断だったと言ってくれた先輩もいましたが、ヘルムスとしての責任を果たせなかつたことには変わりはありません。

二度とこのようなことがないように、自分は3669のヘルムスだと自信を持って乗れるよう技術、体を鍛えたいです。

## ●団体戦

2014年度インカレ個人戦予選(7月26~27日)																			
基本情報				合計	1レース		2レース		3レース		4レース		5レース		6レース		7レース		
所属	Sail.No	ヘルムス	クルー	点数	順位	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点
1	北海道大学	4161	飯塚 森下	28	5	1	1	12	12	6	6	3	3	5	5	3	3	11	11
2	北海道大学	4075	中村 野崎	19	2	8	8	3	3	1	1	1	1	2	2	4	4	12	12
3	北海道大学	4424	後藤 町谷	47	10	10	10	13	13	8	8	6	6	10	10	7	7	8	8
4	北海道大学	4290	溝口 松谷	44	8	11	11	5	5	9	9	9	9	8	8	8	8	7	7
5	小樽商科大学	4378	太田 赤前/田中	10	1	3	3	1	1	3	3	2	2	1	1	2	2	1	1
6	小樽商科大学	4072	松浦 小池/赤前	19	3	2	2	7	7	DSQ	DSQ	4	4	3	3	1	1	2	2
7	小樽商科大学	3878	徳田 三浦	38	7	4	4	6	6	7	7	8	8	7	7	9	9	6	6
8	小樽商科大学	4154	荒川 平野	45	9	5	5	9	9	13	13	10	10	6	6	6	6	10	10
9	室蘭工業大学	3545	碓井 野田/吉原	24	4	7	7	2	2	2	2	DSQ	DSQ	4	4	5	5	4	4
10	室蘭工業大学	3805	大原 村田/中岡	34	6	6	6	4	4	5	5	7	7	11	11	11	11	3	3
11	室蘭工業大学	3669	佐藤 堤/中澤	50	11	9	9	6	6	10	10	13	13	9	9	10	10	5	5
12	北見工業大学	3883	山本 朝妻/小須	64	12	DNF	DNF	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	9	9
13	北見工業大学	3884	菊池 中村/高尾	72	13	DNF	DNF	10	10	12	12	12	12	13	13	13	13	DNF	DNF

「怒号！」

3542 野田達也

今でも印象的なのが、大会2日目の3レース目です。

1、2レース目を8、8位で終えて、フィニッシュしそのまま支援艇に向かうと、

「野田ー！お前っ、なんて顔してやがる！」

「お前そんな顔するために今まで必死に練習してきたのか！」

って、思いっきり怒鳴られました。そんなひどい顔してたのかな、なんて考えていたらいつの間にか頭の中にあった余計な考えがなくなり、驚く程冷静になっていました。

3レース目、2下マーク、スターボアアプローチ。風下の1艇に先に廻られ、次のジャイブ後のミスが許されない中で、ミスなくジャイブを決め、スムーズにリーチングで抜き返すことができました。3位でフィニッシュし、支援艇に向かう時は嬉しかったです。2レース目のあの怒号がなかったら、きっとミスしていたかもしれなせん。大事な場面で弱いですから…。ホントありがとう。

結果は総合で自艇は8位、室工は3位で終わりました。満足できる結果ではありませんが、最後まで全力でやりきれたことは本当に良かったです。支えてくれた先輩、同期、後輩の皆さんには本当に感謝しております。ありがとうございました。

「団戦」

3805 村田明日香

最後の大会であった団戦は部活の集大成であった団戦は今までの大会の中で一番緊張した大会でした。去年の団戦は強風が吹いてまともに戦えてなくて後悔しかないレースでした。今年の室工は風があると北大、商大とも戦えているといわれていました。しかし、今年の団戦のレースは風がなく二日目の時点で40点差がありました。艇速やコース取りなど不十分な部分がたくさんあったと思います。

最終日も風がなく、最後一時間ぐらいの時にオンデッキぐらいの風が吹いて他大と順位を競うことができました。終わってみると結果は三位で団戦はあっとゆう間に終わってしまった。改めて、まだ他の大学との力さがあると痛感しました。

悔しいレースだったけど、最後のレースは清々しい気持ちでした。最後まで楽しい気持ちでレースができてよかったです。

## ●全道選手権

全道選手権													
基本情報				合計			1レース			2レース			
1	所属	Sail.No.	ヘルムス	クルー	点数	順位	Point	着順	確順	得点	着順	確順	得点
1	北海道大学	4290	飯塚	森下/金井	32	9	13	DNC	DNC	16	DNC	DNC	16
2	北海道大学	3789	後藤	町谷	32	9	13	DNC	DNC	16	DNC	DNC	16
3	北海道大学	4075	中村	野崎/藤田	32	9	13	DNC	DNC	16	DNC	DNC	16
4	北海道大学	7	溝口	松谷/金井	32	9	13	DNC	DNC	16	DNC	DNC	16
5	OB	4130	幸若	田林	17	4	18	DNC	DNC	16	1	1	1
6	室蘭工業大学	3542	木下	堤	32	9	13	DNC	DNC	16	DNC	DNC	16
7	室蘭工業大学	3805	大原	中岡/田村	5	1	24	1	1	1	4	4	4
8	室蘭工業大学	3545	間野	碓井	21	6	16	5	5	5	RET	RET	16
9	室蘭工業大学	3669	佐藤	中澤/吉原	5	2	21	3	3	3	2	2	2
10	小樽商科大学	3878	徳田	長岡	23	8	14	7	7	7	RET	RET	16
11	小樽商科大学	2788	荒川	久保田	22	7	15	6	6	6	RET	RET	16
12	小樽商科大学	2483	小池	宇野	32	9	13	DNC	DNC	16	DNC	DNC	16
13	小樽商科大学	4376	太田	田中	7	3	19	4	4	4	3	3	16
14	小樽商科大学	4072	松浦	佐々木	18	5	17	2	2	2	RET	RET	16
15	OB	3452	西島	市岡	32	9	13	RET	RET	16	RET	RET	16

### 「全道選手権について」

3669 吉原厚樹

代替わりして、まず初めて出場するレースがこの全道選手権。うちでは、代替わり後にトラブルが起きるのが定番となっていますが、今年も例にもらさずしっかりとやらせていただきました笑。練習の出艇間際に着荷の船台が「バゴンッ」。今年も来たかと思いながら見てみると、フレームがぼっきり折れていました。なんとか、タイヤで引きずりながら出艇しました。船台は後日、工房長改め新部長の大原先生がしっかりと治してくれました。全道選手権までの練習は併走をメインに時々スタ練という感じで行いました。

さて本題、全道選手権についてですが新人のレース経験に重きを置き、

3805 大原 (3年) /中岡 (2年)、田村 (2年)

3669 佐藤 (3年) /中澤 (2年)、吉原 (3年)

3545 間野 (2年) /碓井 (3年)

3542 木下 (2年) /堤 (2年)

という、配艇になりました。二日間あるうちの1日目は、3ノット以下の微風が振れまわっていたのでハーバーバック。風待ち中に強風注意報がでてノーレースとなりました。2日目も風が強く安全を考え05と69のみレース参加しました。4艇のみの参加のレースだったためレースとしての経験を多く積むという事は出来ませんでした。レースの緊張感というものは味わうことができたと思います。結果は一位05二位69とワンツーで入賞しました。四艇中ですからなかなか心から喜べるものではないですが、まずまずの滑りだしかったのでは？と考えます。

## 「全道予選」

3542 木下 雅也

この大会がデビュー戦になるはずでした。

大会一日目。初めての艇長会議に出席し問題無く出艇したものの風が触れてレース開始が延期されました。期待と不安が入り交じりながらもレースが始まるのを待ちました。しかしH旗が揚がりその後ノーレース。大会二日目。午前中は昨日と同じ流れでした。少し焦りましたが、午後の出艇は出来そうでした。しかし現実には甘くはありませんでした。風が上がりいざ出艇というとき前線が通過しそうだと聞きました。風は強く向きも苦手な南東でした。自力で無事に帰ってくる自信が有りませんでした。先輩と相談し出艇を見送りました。この判断は今でも間違っていないと思います。堤防からレースを眺めているとき、悔しくて泣きそうでした。自分の無力さを痛感し、この思いを胸にこれからも頑張ろうと思いました。

## ●全日本470級ヨット選手権大会

3805 89艇中86位

### 「全日本470選手権 in 江ノ島」

3805 大原伸

全道選手権で1位になり、全日本470への出場というチャンスが突然まわってきた時は、まったく実感がありませんでした。正直、自分達の実力を考えたら全日本470など程遠いと思いました。しかし、だからこそ貴重な機会だし、今後のヨット部に必ずプラスになり、来年度のインカレ全国へもつながると考え、出場を決めました。

全国大会となると、準備の段階から初めてのことで、色々と戸惑いました。艇の輸送については江野さんに全面協力していただき、本当に感謝しています。また、宿の確保や物品の準備などは、一緒に出場する北大や商大と共同で進めてもらう事ができたので助かりました。現地でも共に行動できたのは心強かったです。艇数が多く、使い慣れていないハーバーでは出着艇やバースするのも一苦勞で、レースで万全を期すためには陸上での効率の良い行動が大切だと思いました。また、レースでは初めての海域で初めてのビックフリートで初めてのトラペゾイドコースに翻弄されるばかりでしたが、全国の戦い方、空気感を直に味わって自分なりに得るものはありました。このイメージを他の部員ともできるだけ共有して、またステップアップしていきたいと思います。

11月下旬江ノ島で開催された、2014年全日本470級ヨット選手権大会に出場してきた。5日間のレース日程で全9レースを消化した。

江ノ島でまず驚いたのは、陸係されたディンギーの多さ。それだけのセーラーがいることに、そして、その中でも全国各地のトップレベルの方々とレースをともにすることに興奮と恐怖心を覚えた。なぜなら、このレースが私にとっての第2回目のレースであったからだ。勿論、その為の準備はしてきたはずであった。

初日のレースが体力的にも精神的にも一番大変なものだった。スタート予告信号が掲げられる数分前にはもう、40艇位が一斉にスタートライン前で陣取りをするための流れを作り始める。それに乗り遅れるとスタートが思うようにできない。ゴールドフリートでゼネリコが続くと、シルバーフリートの準備信号は初めからブラック旗が掲げられた。ペナルティーを意識するあまり、なかなかスタートラインと自艇との位置関係を把握できずに、定められているスタートラインより遙か手前でスタートしていた。コースの形はトラペゾイドと呼ばれるものだった。アウトーループとインナーループを完全に理解できてなかった。あるレースでは、ダウンウィンドで沈してしまい、1回の沈おこしで体勢を戻せずに時間ロス。その間、前を走っていた艇にはどんどん差をつけられてしまい焦っていた。そして、やっと下マークを回航した後、2上マークを見失ってしまいなかなか見つけられず、ここでも相当のロスをした。これはやってはいけないことだ。正直、フィニッシュした時はタイムアウトだと思っていた。

コース引きも難しく、適切な判断をすぐには下せなかった。江ノ島ではいかにリフトを走れるかが重要であるようだ。スタートを失敗すると上艇の多さから右海面に行きたくても、ズルズルと左に持って行かれてしまったこともしばしば。あるときは後続の上艇を見落として、タックした矢先にその権利艇を避けさせてしまった。マーク付近では回航してくる艇の多さにケースを避けるために、かなり神経を使った（のは僕以上に大原さんである）。すべてのレースを通して、トップ艇団は自分たちよりも遙か先を走っていた。船の性能もあるかとは思いますが、彼らは完全に風を味方に行っているのではないかと、思ってしまうほど速かった。僕たちはまだまだ風を味方にできていない。

道内のレースでは決して味わえることのない体験をさせて頂けたと感謝である。そしてこの経験を部に還元したいと思う。今大会に駆けつけてくださった歴代の先輩方、この度はありがとうございました。

## 8. 来年度への意気込み

応用理化学系学科 3年

碓井 真大

機械航空創造系学科 2年

田村 健一郎

情報電子工学系学科

前田 翔

### 「来年度の意気込み」

碓井 真大

「気づいたら最後の1年かぁ」ってこの時期はみんな思うんだろうな～。

さて、来年は経験の多いクルーがへり、つらい1年になると思います。そこは、後輩たちにがんばってもらって、最後の1年はどうすれば他艇よりはやくフィニッシュできるのかを考えていきます。

「全国に行き自分の力がどのくらいなのかを試す。」これは僕個人で思っていることで、みんなが何を目的に全国に行きたいのかはそれぞれだと思いますが、みんなも目的を持っていると思います。その目的を強く思って、チームで全国を目指しましょう。

なんかちょっとクサイな……

### 「来年度の抱負」

田村健一郎

昨年は、初めてのレースと全日本選手権を経験して、自分の中では大きな変化を感じられた年だった。まず、競技としてのセーリングの楽しみをやっと感じられるようになった。また、インカレ個人戦予選での事故を受けて、安全な練習ができるようにもっと陸での準備をしっかりするべきだと感じた。自身への課題としては 1. ヘルムスともっとコミュニケーションを取ること 2. 冷静なコース引き、判断をすること 3. 風の変化や、他艇の動きに敏感になること。来年は、まずはインカレ団体戦予選で使えるセーラーに成れるよう、これらを行動にしていきたいです。

### 「新年の抱負」

前田 翔

僕は新年の抱負が2つあります。1つ目が、クルーとしての動きを頭で考えずに体が勝手に動けるようになるまで練度を上げることです。去年はヨットに乗っても自分のことで精一杯でした。こんなことでは、新しく入ってくる新入部員にも教えることはできませんし、他大学の同じ1年生ですでに大会にも出たこともあるライバルにも差をつけられています。練度は練習を繰り返すしかないので、ひたすらしていきたいと思います。

2つ目が、タクティクスのことについて理解を深めることです。今はまだレースに出たことがなく実際のイメージが出来ませんので、オリンピックなどの470のレースを見て「なぜ今このタイミングでタックしたのか？」などいろんなことに疑問を持っていけば、自ずと身につくのではないかと思い実践していますが、まだまだ自分は分からないことだらけなので、先輩たちに教えて頂いていこうかと思っています。

# 9. 2014 年度収支決算

## ●2012 年収支決算、2013 年収支決算について訂正とお詫び

前年度および前々年度収支決算、予算共に訂正がございます。

掲載されていた“繰越金”ですが、2013 年度収支決算の際、口座の預金、手元で管理している部費と照らし合わせた結果、実際の明記の通りは存在しておりません。年々の退部部員の未払いの部費、記載されていない部費からの金銭のやり取りが、原因と思われます。誠に勝手ではありますが、本誌を持ってこの繰越金を訂正させていただきます。

また昨年の援助金内訳において、記載漏れがありました。この場を借りてお詫び申し上げます。支えてくださっている皆様への感謝を忘れず、援助の詳細を部員一同へ周知を心がけていきたいと思っております。

大変申し訳ございません。こんなことが二度と無いよう部費の管理、決算を厳格にしていきたいと思っております。

第 50 期会計 佐藤 徹三郎



2014 年度収支決算

収入の部

部費		1188000
	OB・OG	120000
	MSC	51000
援助金	学連	40000
	学校	216140
	その他	31000
特別徴収		288000
アルバイト代		50000
雑費		100
昨年繰越金		538718
合計		2522958

支出の部

負担金	北海道学連分担金	¥40,
	470協会費	¥0
	MSC会費	¥68,000
	JSAF登録料	¥105,000
	スポーツ保険料	¥37,050
	年間上下架代	¥17,200
	計測証明証再発行代	¥8,000
小計		¥308,050
大会エントリー費	春季レース	¥7,500
	祝津カップ	¥3,000
	個人戦予選	¥15,000
	国体予選	¥3,000
	団体戦予選	¥30,000
	全道選手権大会	¥15,000
	フリートレース	¥15,000
	全日本470選手権大会	¥30,000
	ファミリーレース	¥20,000
小計		¥108,500
	470 艀装品	¥0
	備品	¥36,898
	マスト購入代	¥0
	セール購入代	¥0
	セール計測代	¥8,000
小計		¥44,898
レスキュー	修理	¥37,786
	備品	¥0
	維持費	¥0
	小型船舶検査代	¥33,400
	ガソリン代	¥102,950
小計		¥174,136
備品		¥2,036
消耗品		¥42,360
雑費		¥21,545
食費		¥58,617
部誌編集費用		¥36,255
自動車ガソリン代		¥208,316
全日本470諸経費		¥223,250
レセプション代		¥0
新入生歓迎会費		¥21,316
洞爺湖倉庫代		¥85,000
艇庫ガス代		¥48,869
交通費		¥13,608
卒業式		¥7,452
小計		¥768,624
計		¥1,401,408

翌年繰越金 ¥1,121,550

## ●援助金内訳

第1期	役田 徹	様	第46期	中山 友輝	様
第1期	今泉 善勝	様	第47期	北岡 湧	様
第5期	鈴木 正典	様	第47期	青木 翔平	様
第20期	軽米 達也	様	第47期	石川 千晶	様
第41期	舘 雅春	様	第48期	市岡 伸也	様

室蘭セーリング協会会長 近藤 一生 様  
民宿潮騒 様

北海道セーリング連盟 様

上記の方々から2014年度に援助金をいただきました。また、その他多くの方々からインカレ予選や追いコンでの物品等の支援もいただきました。ご支援ありがとうございました。

来年度もチーム一丸となってインカレ本選20位以内という目標を目指して頑張っていきます。今後も室蘭工業大学ヨット部の発展のため、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

室工ヨット部員一同

# 10. 2015 年度収支予算

## 収入の部

部費		1,200,000
援助金		50,000
アルバイト代		50,000
昨年繰越金		1,121,550
合計		2,421,550

## 支出の部

負担金	北海道学連分担金	20000
	470協会費	10000
	MSC会費	85000
	JSAF登録料	105000
	スポーツ保険料	40000
	年間上下架代	35000
	計測証明証再発行代	8000
大会エントリー費	各種	150000
470	修理道具	60000
	艀装品	20000
	備品	20000
	セール購入代	400000
レスキュー	修理	30000
	備品	20000
	維持費	5000
	ガソリン代	120000
その他	備品	5000
	消耗品	10000
	食費	60000
	部誌編集費用	30000
	自動車ガソリン代	200000
	ルール講習会費	3500
	新入生歓迎会費	30000
	洞爺湖倉庫代	85000
	艇庫ガス代	40000
	交通費	20000
合計		1616500

翌年繰越予定金 ¥805,050

今年度は3年ぶりにメインセールとジブセールを2セットずつ購入予定のため、昨年度よりも繰越金が減っております。また、全国大会への出場を考えると、更に遠征費用などがかさむ事が予想されます。

# 11.編集後記

『LEEWARD NO.21』の編集をさせていただきました小侯です。まずは、発行が遅くなってしまったことをお詫び申し上げます。

本誌は大原、田村、木下、小侯の編集員で製作しました。本誌を作成にあたりましてOB、OG、部員の皆さんに協力いただき本当にありがとうございました。初めてのLEEWARDの製作でしたので、分からないことが多く、過去のLEEWARDを参考にしながらの製作でした。過去のLEEWARDを実際に読んでみるともっと頑張ろうと思う様な先輩方の言葉が沢山あり、私もこんなLEEWARDにしたいと思いながら製作しました。

思い返してみるとこの1年はあっという間だった気がします。けれど、1年間充実した生活を送ることができました。私の高校時代は何も部活をやっていなくただなんとなく時間が過ぎる様な3年間だったので、毎日が楽しくヨット部に入って良かったと痛感します。

また1年間を振り返ると、沢山のOBさんが練習に来てくださり、ヨットに乗っているところを見ると見習うことが沢山あると感じました。そしていつか先輩やOB,OGさんを超えるようなセーラーになりたいとも思いました。今年度は部員全員がヨットに乗っていて楽しいと思えるような部活にし、大会でも上位に食い込んで、今年こそは個人戦、団体戦で全国の舞台に立てるよう、日々精進していきたいです。

最後となりますが、今年1年ヨット部が活動できたのは、海洋センターやエンルムマリナーの方々をはじめ、監督の近藤さん、江野さん、洞爺湖町の方々、そしてOB・OGの皆様のご支援、ご協力のおかげです。そのことを日々忘れることなく部員一同、これからも活動していきます。今後とも室蘭工業大学ヨット部をよろしく願います。